

ふくしま

第122号

令和元年6月1日発行

議会だより

発行：福島町議会

Tel. 0139-47-2215

(題字：福島小学校6年生 西田 衣織 さん)



お稚児さん行列 (4/29 妙蓮寺 法灯継承式 写真提供：福島フォトサークル)

ふくしま ふくしま ふくしま

福島小学校6年 中嶋みなみ さん

福島小学校6年 水澤 将真 さん

福島小学校6年 吉田 飛龍 さん

■ 定例会3月会議	P 2	■ 予算審査特別委員会その2	P 10	■ 議員評価・目標	P 22
■ 予算審査特別委員会その1	P 4	■ 常任委員会の調査報告	P 14	■ 会議等出席状況	P 28
■ 議会費の使い道	P 5	■ 特別委員会の調査報告	P 18	■ 町民の声	P 30
■ 各議案の審議結果	P 6	■ 町民と議員との懇談会	P 19	■ 議員の雑感	P 30
■ 一般質問	P 7	■ 議会の評価	P 20		

定例会3月会議

定例会3月会議は、3月8日に開会し、13日に閉会しました。

会議では、条例の制定・一部改正、計画の変更、各会計の新年度予算など45件を審議しました。各会計の新年度予算は、予算審査特別委員会に付託、審議し、全て原案のとおり可決しました。

8日の夜間議会では、5名の議員が一般質問を行い、町の対応や考え方をただしました。

会期中の参画者は12名でした。



3月会議の様子

■条例の制定（1件）

○岩部地区交流センター管理
条例の制定

【制定内容】

効率的、適正な管理運営のため条例を制定。交流センターの有効活用が期待される。

■条例の一部改正（9件）

○各種委員会の統廃合・委員
定数の変更に伴う関係条例
の整理

【改正内容】

各種委員の定数等の変更に
伴い条例を一部改正。次の5
つが改正されました。

・まちづくり基本条例の一部
改正

・交通安全推進員・指導員の
設置に関する条例の一部改正

・総合計画審議会条例の一部
改正

・社会教育委員に関する条例
の一部改正

・文化財保護条例の一部改正

○職員の勤務時間、休暇等に
関する条例の一部改正

【改正内容】

超過勤務時間の上限等を定
める条例の一部改正。

○生活改善センター条例の一
部改正

【改正内容】

岩部生活改善センター解体
に伴う条例の一部改正。

○青少年問題協議会条例の一
部改正

【改正内容】

法改正により会長・委員の
要件規定を廃止する条例の一
部改正。

○水道事業設置等に関する条
例の一部改正

【改正内容】

「水道事業」から「簡易
水道事業」へ変更する条例の
一部改正。

■基金の処分・変更（1件）

○財政調整基金の積立金の処分
一般会計予算の財源不足を
補てんするため3億5,000
万円の繰入れ支消を議決。

■計画の策定（1件）

○都市計画（都市計画マス
タープラン）の策定

町の都市計画に関する基本
的方向性を示す計画の策定。

■計画の変更（4件）

○第5次総合計画の変更

新年度予算編成に伴い前期
実施計画の一部を変更。
総事業費は50億7,735
万円。

○第2次まちづくり行財政推
進プランの変更

総合計画との整合性を図
り、財政推計を見直す変更。

○人口ビジョン・総合戦略の
変更

教育環境に係る文言の追加。

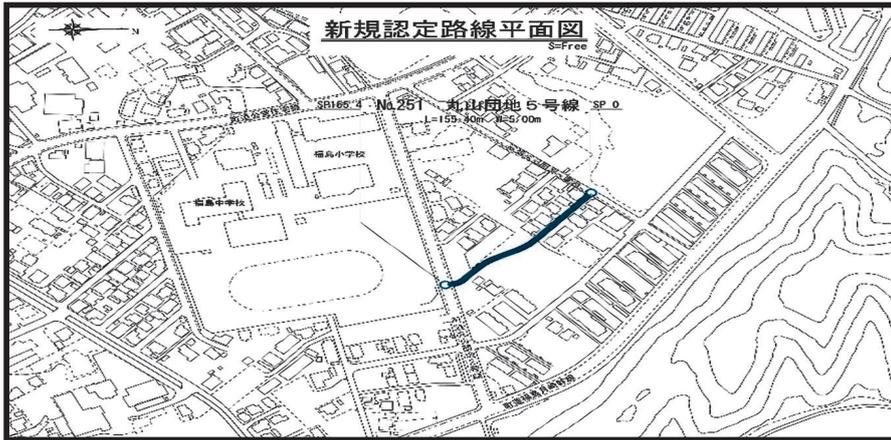
○森林整備計画の変更

林業専用道吉岡線の追加等。

■路線の認定・変更

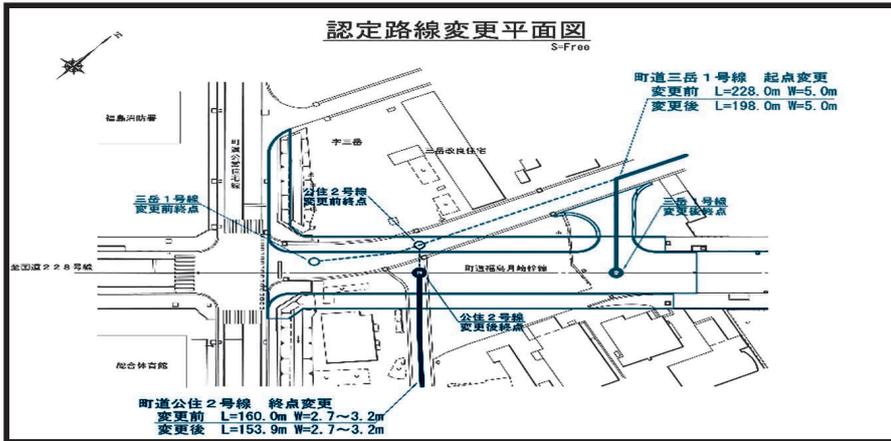
・路線の認定

町道丸山団地5号線の認定を議決。



・路線の変更

町道三岳1号線、公住2号線の総延長の変更を議決。



報告

■一般質問等答弁事項進捗状況調査の報告

追跡調査に対応する方針等の報告。

同意

○監査委員の選任

本庄屋誠氏の選任(再)に同意。

○固定資産評価審査委員会委員の選任

石倉正史氏の選任(再)に同意。

○農業委員の選任

佐藤孝男氏、本庄喜美雄氏、今井隆氏、工藤昭一氏、成田常義氏、久野寿蔵氏、菅藤光男氏、の選任(再)に同意。

○人権擁護委員の推薦

花田春夫氏、丁子谷雅男氏を人権擁護委員(再)として、適任であると答申。

補正予算の内容

■一般会計補正予算(第9号)

■国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

■介護保険特別会計補正予算

(第3号)

■後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

■浄化槽整備特別会計補正予算(第2号)

■国民健康保険診療所特別会計補正予算(第5号)

■水道事業会計補正予算(第3号)

不用額の精査等による各会計の補正後予算総額は左の表の通りです。

単位：千円

会計名	予算総額	補正増減
一般会計	4,289,995	△ 83,549
国民健康保険	858,988	20,691
介護保険(保険事業勘定)	551,393	△ 65,094
後期高齢者	69,092	△ 236
浄化槽整備	36,978	△ 2,271
国民健康保険診療所	213,323	△ 2,713
水道事業	129,230	△ 8,411
計	6,148,999	△ 141,583

予算審査特別委員会

平成31年度一般会計など7会計の予算案と関連議案4件、計11議案を「予算審査特別委員会(3月8日設置)」「平野隆雄予算審査特別委員長ほか議長を除く全議員で構成」に付託し、11日から13日までの3日間慎重に審議しました。付託された11議案については、いずれも原案のとおり可決すべきものとした特別委員会の意見を付して議長に送付され、13日開催の本会議において原案のとおり可決されました。

予算審査特別委員会の主な質疑・意見交換は、10頁から13頁に掲載しています。



予算審査特別委員会の様子

平成30年度当初予算との比較は、次のとおりです。

単位：千円

会計名	平成31年度	平成30年度	増減
一般会計	3,759,608	3,928,759	△169,151
国民健康保険	742,864	746,636	△3,772
介護保険	525,897	569,438	△43,541
後期高齢者	69,516	69,237	279
浄化槽整備	40,098	37,749	2,349
国民健康保険診療所	78,933	92,010	△13,077
水道事業	152,200	136,631	15,569
計	5,369,116	5,580,460	△211,344

平成31年度予算の主要事業は、次のとおりです。

■産業の再生による雇用の創出

○**がんばる地元企業等応援事業費**

6,000万円

施設投資助成・雇用奨励助成。

○陸上養殖による「蝦夷アワビ」ブランド化事業費

3,756万8千円

○福島町商工会補助金

900万円

○岩部海岸わくわくクルーズ事業費

1,063万4千円

クルーズ船運航業務等委託料。

○ふるさと応援基金運営費

420万円

ふるさと納税支援システム業務委託、特産品贈呈。

○観光情報発信事業費

200万円

観光ホームページ制作、PRノベルティ購入。

■次世代を担うリーダーの育成

○人材育成支援事業費

994万円

資格取得・講習会参加助成、農林水産担い手支援。

○福島商業高等学校存続対策費

1,672万7千円

■豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実

○出産祝金交付事業費

360万円

○定住促進住宅等奨励事業費

300万円

○空家対策支援事業費

640万4千円

○町営住宅建替事業費

1億6,406万7千円

丸山団地1棟4戸

■町民の安心安全な暮らし・生活環境の充実

○高齢者等冬の生活支援事業費

500万円

○松前木古内線バス車両更新事業補助金

850万円

■協働のまちづくり(コミュニティ)

○各生活館等改修事業費

2,692万円

塩釜町内会館の解体・設計、日向生活館改修。

議会関係の条例改正

次の4条例については12月議会に提案し、審査特別委員会へ付託のうえ3月会議で議決しました。「議会基本条例の一部改正」については、一部修正となりました。

○議会議員政治倫理条例の制定

【制定内容】

「議会議員の不当要求行為等を防止する条例」の内容を拡充し新たに制定。

○議会参画奨励条例の制定

【制定内容】

「議会への参画を奨励する規則」の内容を拡充し新たに条例として制定。

○議会基本条例の一部改正

【改正内容】

諮問会議の答申を受け、議会改革の検証と実績を反映し条例を改正。

○議会会議条例の一部改正

【改正内容】

議会基本条例と同様、諮問

会議の答申を受け、議会改革の検証と実績を反映し条例を改正。

※4条例を付託した審査特別委員会の内容は、18頁に掲載しております。

〈3月会議に提案、議決した改正条例〉

○議会基本条例に関する諮問会議条例等の一部を改正する条例

【改正内容】

文言・条項等の見直しにより、改正となった条例（新名称）は次の通りです。

- ・議会基本条例諮問会議条例
- ・議会議員研修条例
- ・政務活動費交付条例
- ・議会議員歳費・費用弁償等条例
- ・町長の専決処分事項指定条例

平成31年度 議会費の使い道 前年度より210万3千円の減額

単位：千円

区分	31年度	30年度	増減	概要
報酬	23,596	24,531	△ 935	議員歳費23,521、諮問会議委員報酬75
手当等	9,951	10,313	△ 362	議員期末手当
共済費	8,330	9,468	△ 1,138	議員共済等負担金7,722、社会保険料等608
賃金	2,120	2,098	22	臨時職員賃金（会議録作成）
報償費	100	100	0	専門的知見謝金（審査・調査）
旅費	1,581	1,660	△ 79	普通旅費637、視察研修旅費573、職員旅費150 同行旅費108、委員費用弁償12、委員旅費101
交際費	200	200	0	議会としての慶弔費など
需用費	1,139	1,045	94	議会だより印刷製本費807、消耗品費等332
使用料・賃借料	164	162	2	議会ホームページ単独運用（使用料）41 インターネット中継回線利用料等123
備品購入費	222	0	222	管理用備品購入費 222
負担金・補助・交付金	1,813	1,743	70	管内議長会等411、四町議員協議会133 議員公務災害補償組合69、政務活動費1,200
償還金・利子・割引料	4,328	4,327	1	備荒資金組合への償還金（議会中継システム更新1,110、音響等設備更新3,218）
合計	53,544	55,647	△ 2,103	

各議案の審議結果

- ・賛成が○、反対は×と表示しています。
- ・溝部幸基議長は採決には加わりません。

会議名	議案番号	議案名	議員名								審査結果
			杉村志朗	川村明雄	花田勇	木村隆	平沼昌平	佐藤孝男	熊野茂夫	平野隆雄	
H30 3月 会議 (3/8 ～13)	49	岩部地区交流センター管理条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	50	各種委員会の統廃合・委員定数変更の関係条例整理	○	○	○	○	○	○	○	○	
	51	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	52	生活改善センター条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	53	青少年問題協議会条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	54	水道事業の設置等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	55	第5次総合計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	
	56	第2次まちづくり行財政推進プランの変更	○	○	○	○	○	○	○	○	
	57	人口ビジョン・総合戦略の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	
	58	森林整備計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	
	59	都市計画（都市計画マスタープラン）の策定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	60	路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	61	路線の認定変更	○	○	○	○	○	○	○	○	
	62	平成31年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
	63	平成31年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
	64	平成31年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
	65	平成31年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
	66	平成31年度浄化槽整備特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
	67	平成31年度国民健康保険診療所特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
	68	平成31年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
	69	財政調整基金の積立金の処分	○	○	○	○	○	○	○	○	
	70	平成30年度一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	71	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	72	平成30年度介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	73	平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	74	平成30年度浄化槽整備特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
75	平成30年度国民健康保険診療所特別会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○		
76	平成30年度水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○		
報告13	一般質問等答弁事項進捗状況調査の報告	※採決はありません。								報告済み	
同意2	監査委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 同意	
同意3	固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○		
同意 4～10	農業委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○		
諮問 1・2	人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 適任	
発委10	平成30年度定例会12月会議（審査特別委員会報告） 議会基本条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	修正 可決	
発委11	// 議会会議条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決	
発委12	// 議会議員政治倫理条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○		
発委13	// 議会参画奨励条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○		
発委14	議会基本条例に関する諮問会議条例等の一部を改正する 条例	○	○	○	○	○	○	○	○		



川村 明雄 議員

人口問題と在町外国人との交流は 受入事業者の協力を得て、交流拡大に

【川村明雄議員】

現在日本で暮らす在留外国人は264万人、東京都をはじめ全国に在留しているが、当町の技能実習生の国別男女別実態は？

実習生は、あらゆる職種に広がり、介護分野の需要も大きいのが当町の将来の姿は？

当町の将来を見据え、文化・観光・行事など各種パンフレットやホームページへの外国語併記を図ってはどうか？

各種対策について、町長・教育長のお考えを伺う。

【鳴海清春町長】

平成31年3月現在、ベトナム国籍28人（女性）・インドネシア国籍2人（男性）で、水産加工業・縫製業・漁業が受け入れ。当町の介護事業所では外国人技能実習生生活用の動きはないが、将来的には検討の余地がある。

外国語表記については、横綱・青函トンネル両記念館訪問の外国人観光客対応として少しずつ整備しており、今後も対応したいが、外国人技能実習生向けは現段階で考えていない。町民との交流については、新年交礼会や福島大神宮例大祭等で相互の文化に触れられる機会となっており、受入事業者の協力を得ながら、拡大に努める。

【前田勝広教育長】

議員と同認識であり、今後課題として整理してまいりたい。



平沼 昌平 議員

鳴海町政の総括と二期目に向けた取組は 全力を尽くし、二期目に新たな挑戦

【平沼昌平議員】

町長就任後、公約に掲げた課題解決策を事業化し、第5次総合計画前期実施計画に全力で取り組み、任期4年間を見事に有言実行されたと感じるが、計画を立案・実行して、それで完結するものではなく、町民にどのように評価され、改善するか、PDCAサイクルの道半ばであると考え。一期目4年間を総括し、総合計画後期計画に結び付けていくのが鳴海町政の責務と考えるが、町長の取り組み姿勢を伺う。

【鳴海清春町長】

選挙時に町民の皆様に掲げた選挙公約は、概ね手がけることができたと考えているが、町長の仕事は自ら評価すべきではなく、町民が判断すべきものであり、4年に一度の町長選挙において、その判断が下されると思う。

現在取り組んでいる、食べる昆布、蝦夷アワビの陸上養殖・岩部海岸クルージングの事業化推進、若者定住促進住宅の建設、新たな道の駅構想、第2青函トンネル構想の実現、第5次総合計画後期実施計画の取りまとめなど新たな課題も山積している。

与えられた任期を全力で尽くし、課題・目標を把握のうえ、町民・関係者等の声を聞き、二期目に向けた新たな挑戦をしたい。

教育2020年問題対策は

現状を踏まえ、各種対策に取り組む

【木村隆議員】

- ① 2020年度からの次期学習指導要領の対策を伺う。
- ② 2年の移行期間だが、今年度の外国語授業時間数は？
- ③ 外国語授業時間数は、どのように確保するのか？
- ④ A L T の外国語授業指導体制はどうなっているか？
- ⑤ 小学1・2年の英語に親しむ時間をどう作っているか？
- ⑥ All English の対策・方針は？
- ⑦ プログラミング教育移行期間の取り組みは？



木村 隆 議員

【前田勝広教育長】

- ① 1・2年生6時間、3・4年生37時間、5・6年生72時間を確保。
- ② 水曜日は、朝の自習、掃除、委員会活動をやめ、全体の授業時間数を短縮し、確保。
- ③ A L T は事前に担任と話し合い、担任の指示の下、児童に指導。
- ④ 英語の歌やゲーム、言葉遊びなどを通じた外国語活動となっている。
- ⑤ 実績をベースに、新年度も同様に取り組む予定で、All Englishへの取り組みは考えていない。
- ⑥ I C T 教育支援員を活用し、小学校では算数と理科の時間、中学校は技術の時間に実施。教員対象の講習会を実施しており、新年度も授業力の向上に取り組みたい。

財政運営の基本的な考えは

収支バランス重視の政策へ徐々に転換

【熊野茂夫議員】

次年度が第5次総合計画前期実施計画の最終年になるが、前期は積極的に各種施策を講じ、この間、平成27年度と平成29年度では、交付税収入が2億円減少し、今後も減少傾向が続くと考える。また、財政調整基金も平成29年度末では15億円となり、財源の減少を心配する。

この1年で後期実施計画をまとめ上げることになるが、大型事業や継続事業など、実施計画策定に向けて財政運営をどのようにお考えか、基本的姿勢を伺う。



熊野 茂夫 議員

【鳴海清春町長】

私は、就任以来、人口減少を少しでも緩やかにする政策的事業に重点的に一般財源を投入し、様々な施策を実施し、それぞれ成果につながったと思慮する。

後期実施計画に向けては、計画精度の向上を図り、継続事業の再検証と各種事業の優先度や実施時期を見極めることが重要と考える。

毎年の公債費償還元金を基本ベースとし、起債借入額をそれ以内に抑え、地方債残高の抑制を図り、政策的事業の見直しや予算を縮小し一般財源を圧縮、財政収支バランス重視の政策に徐々に方向転換していく。今後実施する事業の財源については、有利な起債の活用などにより健全財政運営に努める。

一般質問

詳しい質問内容については、議会ホームページをご覧ください。



佐藤 孝男 議員

福祉センターの耐震化改修を 後期実施計画で方向性を

【佐藤孝男議員】
平成26年度に福祉センターは耐震基準に満たない施設と診断された。
今回の教育執行方針では、総合計画後期実施計画で施設の改修等の基本方針を整理することのことだが、1年でも早く改修をするべきと思うが如何か。
高齢者などが2階に行く際に階段の利用が大変だとの声があり、エレベーターの設置が望まれているが、この点についても伺う。

【鳴海清春町長】
福祉センターの耐震化・町民要望のあるエレベーターの設置については、多額の費用が見込まれ、早期に実施する考えはない。
福祉センターのあり方については、大規模改修や再整備等も視野に入れながら検討が必要であり、後期実施計画の中で方向性をまとめたい。

【前田勝広教育長】
総合計画後期実施計画の策定作業がスタートする、教育委員会としては、福祉センターも含めた建物の長寿命化計画に向けた調査委託事業により、計画書を取りまとめて行く段階で、今後の大規模改修や再整備等の基本方針を整理したい。

議会事務局新職員 の紹介

4/1付人事異動がありましたので紹介いたします。



福井 係長



中島 主査

～精一杯がんばります～

議会ホームページから

ライブ中継・過去の会議映像が視聴できます！

<http://www.gikai-fukushima-hokkaido.jp/>

議会ホームページより議会のライブ中継や過去の会議映像が視聴できます。

上記のURLからアクセスし、ご覧ください。

ホームページをご覧になり、ご感想、ご意見がございましたら下記のメールアドレスにお願いいたします。

○議会メールアドレス

gikai@town.fukushima.hokkaido.jp

予算審査特別委員会

一般会計予算37億5,960万8千円

※質疑・応答は、要約し抜粋を記載しています。
掲載の順番は、第5次総合計画のまちづくり項目の順番です。

産業の再生による雇用の創出・次世代を担うリーダー等の育成

◎水産業、水産加工業

問 熊野委員 ナマコについては、漁業者が高齢化する中で漁家所得を上げる目的で、町で施設改修をして漁協に引き継いでいるが、町としても成果を確認し、目的達成に努力が必要と思う。現状についてどうなっているか伺う。

答 現状は、漁協が自前で採苗し、稚仔をとっている。良い年は10万以上取れることもあるが、安定的な稚仔確保ができない状況だが、努力しながら吉岡・福島・白符漁港に放流している。組合の方針として、港内放流は漁協直営で採取しているが、直営で採る年と採らない年があり、安定的な漁獲になっていない。

◎農業

問 佐藤委員 農村生活グループの補助金が計上されていないようだが、解散したのか？

答 農村生活改善グループの補助金は、従前どおり計上しているが、高齢化や人数が集まらない等の理由で団体運営に支障をきたしている状況と聞いており、3月の総会に向けて、相談をしたいということ伺っている。

◎林業

問 杉村委員 ヤマユリは福島町の町花だが、町内でも目にすることが少なくなってきた。森林公園で管理している、ヤマユリの自生数と管理状況を伺う。

答 ヤマユリの数は年々少なくなってきたっており、現存のヤマユリを枯らさないように工夫している。特にシカの食害が多く、植生地をテグスで囲み、鹿が近寄らないよう管理している。

◎観光、交流

問 平沼委員 観光情報発信事業として、新たなホームページを立ち上げ、また、観光PR用のノベルティ（※特殊広告の1種で、社名・商品名等を入れて無料で進呈する贈り物の総称）を購入し、各イベントでPRするということだが、どのような物を、どのような場所で、どのような形で配付するのか？

答 うちわを2,500枚作成し、女だけの相撲大会来場のお客様に配付することを想定し、福島町をプレゼンしていく時に配布する。福島町のデザインでお菓子（うまい棒）を3,500個くらい作り、町内各施設に置いたり、いかまつりの受付で配付する。効果は未知数だが、取り組みを進めたい。



女だけの相撲大会



トンネル記念館

問 川村委員 両記念館の入館者が減少している。ともに顕彰施設で、何度も足を運ぶとは考えづらい。クルーズ事業、伊能忠敬の資料、縄文土器などリンクできないか？

ツールとして、年間パスポートを発行し、2回目以降は無料で入館できる仕組みにし、経済効果に結び付ける考えはないか？

答 両記念館は、展示物の衣替え等、職員が努力しているが、入館者の増には結びつかない。提案は、確約できないが、集客につながることをしていきたい。年間パスポートについては一時議論になったが、導入すること

により、収益が減る、利用者増による町内波及効果と施設の減収のバランスを考えていかなければならない。

豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実

◎産業創造と雇用労働対策

問 木村委員 産業活性化サポート事業については、起業する中で新たな雇用を創出しなければならぬという大きなハードルがあり、そのため、がんばる地元企業応援事業に流れていると見えるがどうか？

答 産業活性化サポート事業は、新分野・異業種への進出、農工商連携など5つの対象事業があり、補助金の限度額は100万円、補助率は10分の10となっているが、がんばる地元企業応援事業についても、新規参入者を排除していない。

平成32年度に向けてがんばる地元企業応援事業の制度改正を視野に入れている、ご指摘の件についても過去の実績を踏まえながら精査していきたい。

町民の安心安全な暮らし

◎保健予防・健康づくり

問 平沼委員 ガン検診について、実際に検査してガンが見つかった割合は把握しているか？また、その再受診につなげていく手法についてはどうなっているか？

答 ガン検診の種類は全部で5種類ある。受診者が一番多いのが大腸ガン検診、次いで肺ガン検診、胃ガン検診と続く。担当する保健師2名が精密検査の通知、声掛け、勧誘等を行っている。

福島町では、小笠原先生が平成24年から胃ガンのリスク検診（いわゆるABC検診）を導入し、ピロリ菌が多い方を2次検診で胃カメラ検査し、がん治療を行ったケースも何件かある。未受診者をいかに取り込んでいくかが大事であり、普及啓発に努めていきたい。



健康フェスティバルでのABC検診

◎地域福祉

問 平沼委員 戦没者追悼式事業について、遺族の高齢化も目立ってきており、今後の事業展開で参加者の減少は否めないと思うが、平和宣言をした当町が今後どのようにこの事業を進めていくのか伺う。

答 平成31年度については、町長・町議選挙が8月16日に予定されていることから、従来どおり7月に実施したい。平成32年度以降は、終戦記念日の8月15日も候補に遺族会は解散しているが、関係者の方々と協議していきたい。

◎ごみ処理・リサイクル

問 佐藤委員 春と秋の空き缶ゼロの日に参加し、トラックで回り、大きな不法投棄されたものを運び、役場に回収してもらっている。何十年も参加しているが、不法投棄はますます増えている印象を持っている。

答 特に千軒の住川地区は住人がいなくなつてから多い。集中的に監視していただきたいし、監視カメラについても検討いただきたい。

◎住宅

問 木村委員 空き家対策の委託料で、応急措置で20万円とあるが、どのような対策か？

答 平成30年度でも台風等の際、空き家の屋根のものが飛んだこともあった、そのための予算を用意し、緊急時に処理するため、少ない額ではあるが、計上した。具体的には、人件費、作業員等の賃金を想定している。

◎火葬場、墓地

問 花田委員 合葬式墓地の申込者数・利用者数が記載されているが、去年、町民と議員との懇談会である地域に行つたら、生前登録の話を真剣にされている方がいた。その辺の状況を教えて欲しい。

答 申込者数は28名で、利用者が13名となつている。これは、13名が埋葬され、差し引き15名は生前登録ということで、ご本人等が申込みいただいたものです。

◎防災

問 熊野委員 戸別受信機が設置されてから時間が経過しているが、各家庭における点検や状況の把握について伺う。

答 戸別受信機の定期的な検査は、実施していないが、住民から聞こえづらいなどの話があれば、担当が訪問して確認する。

テレビの傍に設置している場合は離して設置するとか、電池が切れている場合は個人で交換してもらおう。

設置から年数が経つて来ているので、どこかの時点で定期的な検査を実施することも必要と考えている。



不法投棄ゴミ



戸別受信機



スクールバス

学び合い、
たくましい人を育てる

◎幼児教育、学校教育

問 木村委員 学校選択制実施に伴い、4月からは吉岡地区から福島小学校に通う児童3名は、どのような形で輸送するのか？

答 スクールバス運転技術員が65歳となり、雇用を更新しないで、町内業者に業務委託する。保護者には、中学校の生徒と同様、各地区のバス停から乗降する形になる旨お知らせした。

今の運転技術員、委託予定業者、学校の教頭先生、教育委員会が詳細に打ち合わせをし、問

違いの無いように4月から運行させたい。

協働のまちづくり・ 行財政運営の充実

◎財政運営

問 平沼委員 ふるさと応援基金費で、寄付者が社会的投資の具体化により、個性あるふるさとづくりを推進するとあるが、事業内容が見えてこないのに課題がないという評価はどういうことか？

ふるさと納税に一般財源が使われているが、ふるさと納税でいただいたお金を財源として、返礼品を準備するのが筋ではないか？

これまでの寄付金が2,500万円くらいと思うが、今後の方向について伺う？

答 この科目はふるさと応援基金費で、寄付者の社会的投資の具体化は、積立金という形になっている。活動指標は寄付者300人としており、寄付者・額が少なかつたことが課題です。予算額は、毎年約100万円の寄付が集まるので、それを計上

している。

別科目のふるさと応援基金運営費に、新たな「ふるさと納税システム支援事業」があるが、これは、ふるさと納税ポータルサイトで福島町の特産品をPRし、地場産品の消費拡大とふるさと納税額の増加を目指すもので、7月から始まるので、寄付金の額や返礼品にかかる経費、ポータルサイトへの手数料、送料などは、6月会議で補正したい。



ふるさと納税返礼品

問 溝部議長 公約で、財政調整基金は任期内で10億円を維持するとある、当初予算で、3億7千万円の基金繰り入れとなつているが、10億円堅持の線は崩れないということが良いか？

「議員と町民との懇談会」で、積極的な政策を評価する一方で、財政面での心配をする声があり、議員から基金の状況（公共施設・備荒資金も含めて）を説明しているが、がんばる地元企業応援事業は、2年間、1億4〜5千万円の一般財源になつており、町民も懸念する声が多かった。

答 財政調整基金は、当初予算に約2億4,800万円の一般会計繰り入れを計上している。財政推計上は繰越金の2分の1を積み立てて、計上している繰入金を取り崩す形で考えている。そのままではまれば、平成31年度末は10億9,200万円の基金残高になる。

がんばる地元企業応援事業費については、当初予算で6千万円計上しているが、財政推計上は実績勘案のうえ8千万円上乗せし、1億4千万円。除雪費についても当初5千万円だが、3千万円上乗せし8千万円と、決

算に近い推計をしている、10億9,200万円という数字が、「まちづくり行財政推進プラン」で示した財政推計になる。

補正予算も議決したが、除雪費も、降雪が少ないので、不用額が多くなれば繰り入れを減らすことができる。

地方消費税交付金や特別交付税確定に伴う留保財源も予定されている。

まちづくり行財政推進プランを当初策定した時、町立病院設置の計画はなく、当初の計画からのズレはある。

この4年間、公約で示したことを中心に政策予算を多く使わせていただいたが、今後は、財政安定が無ければ、町民の方々に負担を強いることになるので、財政の弾力性を持たせるためにも、10億円維持のラインは必要と考えている。

平和宣言について

【論点と意見】

【調査概要】 H31.2.8開催

町は、昨年7月開催の戦没者追悼式において、恒久平和を願い「平和のまち宣言」をしましたが、今後どのような取り組みを予定しているか調査したものです。

平和に対する教育と町民意識の高揚を図る事業の展開を！

1. 先進地事例を参考にした児童生徒の平和学習について

平成28年度に議会が視察した杉戸町を始め、被爆地である広島、長崎で行われている平和学習を参考に、福島町での平和学習のプログラミングの検討を望む。

2. 町内行事の見直しについて

現在、町の戦没者追悼式は7月に行われていますが、遺族の高齢化により参加者が少なくなっていることから、遺族会の意見を尊重しながら町民や子供達も参加する行事として終戦記念日の8月15日に開催することや、防災無線のサイレンによる黙祷など、平和に対する町民意識の高揚を図る方法の検討を望む。



長崎県松浦市との生徒交流での平和集会

防災計画の見直しについて

【論点と意見】

【調査概要】 H31.2.8開催

想定しえない大規模災害が全国各地で発生しています。町防災計画は、昭和56年度に策定、逐次、改訂し現在に至っています。町から防災計画見直しの基本的方針が示され、その内容を調査したものです。

実効性のある計画づくりと、災害に対する取組の強化を！

1. 防災計画の見直しについて

(1) 防災訓練について

これまで実施してきた防災訓練については、問題点や反省点等、町民からも色々な意見が出されており、議会が実施した「町内会連合会役員懇談会」や「町民と議員との懇談会」においても様々な意見が聞かれた。

これまでの防災訓練では想定（災害）が不明確で、訓練の目的・目標も徹底されず、結果として、訓練に参加しても防災意識の向上にはつなげていない等の意見が多く聞かれた。訓練内容の検討にあたっては、何を要因とした災害なのか、最悪の被災状況を想定する等、明確な想定に基づいた防災訓練の検討を望む。

また、町内会等からは障がい者・高齢者への対応についても意見があったことから、想定される対応についてシミュレーションを行い町内会と情報を共有する必要があると考えるので合わせて検討されたい。

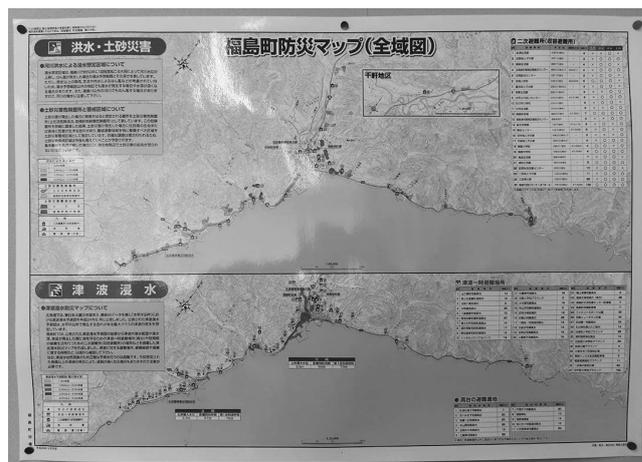
(2) 防災計画書、防災マップの改訂について

平成27年度に改訂された際に示された防災計画書は、資料の多さから我々が見ても難解なものであり、今回の改訂においてもそれは変わらないと思うが、町民各戸に配布する防災マップ等については、町民が有効活用できるよう全体的な図面、一時避難場所の位置、高齢者等への避難路の対応など、判りやすいものとなることを望む。

2. 災害に対する取り組み状況について

現在行われている災害に対する取り組みのうち、以下の点について、防災計画の見直しと並行して対応を検討することを望む。

- (1) 災害時における物資の優先確保に関連した飲料水の確保のため、災害に対応した自動販売機の二次避難所への設置や、飲料水の優先供給についてコンビニ等と協定出来ないか協議を行うなどの検討を望む。



福島町防災マップ（全域図）

- (2) 避難訓練において、一時避難先である高台への避難路の状況について、状態が良くない箇所が多く、高齢者等の使用には向かないと思慮されることから、障がい者・高齢者への避難対応・訓練のシミュレーションの検討を望む。



吉田町町内会の避難訓練の様子

- (3) 防災備蓄品について、災害時の非常用電源として避難施設・避難路への太陽光蓄電電力の活用を検討と、本来、各家庭で用意するものではあるが非常用持ち出し袋の中身のうち、消費期限のあるものの交換について検討されたい。



防災講話を聴く新栄町地区住民と日赤奉仕団

岩部地区交流センター 管理条例の制定について

【論点と意見】

町内会館機能と地域間交流施設 機能の区分を明確に！

【調査概要】 H31.2.8開催

岩部地区交流センターは、町内会館機能のほか、地域の潜在的資源の活用と地域間交流促進拠点としての位置付けをしており、町から交流施設としての管理条例制定に関する資料が提出されましたので調査したものです。

1. 管理条例について

管理条例（案）では、町内会館的利用について条文が抜けている。町では、交流センターとしての活用に重きを置いたとのことであるが、岩部地区住民にとっては、町内会館であることには間違いはないので、他の町内会館条例との整合性を図ることを望む。

2. 施設管理について

新たな施設は、これまでの町内会館の機能とは別に、岩部地区の地域資源を活用した交流施設として設置しており、実際の利用では、施設内や施設周辺での宿泊やバーベキュー等も想定される。

施設管理は、まちづくり工房に委託することであるが、岩部地区は市街地から遠く、地区の人口も少ないことから、受託者が常駐していない状態で火災等が発生した場合の対応が困難であるため、防火体制等には特に配慮されたい。

また、施設内設備については、火気を伴わない電磁調理器の検討も必要と思慮する。

3. 管理方法について

平成31年度から町のクルーズ事業が始まり、当該施設においての工房の活動が中心となることから、施設管理を工房に委託することであるが、町が委託する施設管理の部分と、工房がクルーズ事業として施設を利用する部分の区分けを考えるべきと思慮する。

また、工房への施設管理委託料として見込んである33万2千円については、他の町内会館では消耗品を含む管理費を年間3万円としていることから整合性がなく、本来、クルーズ事業として工房が対応すべき内容まで施設管理委託料として算定されていると推察されるので、クルーズ事業委託との区分を明確にし、交流センター管理委託料を精査することを望む。



岩部地区交流センター 正面玄関



施設内部（広間）

水道事業の簡易水道への移行について

【論点と意見】

簡易水道移行に万全を期すこと！

【調査概要】 H31.2.27開催

町では、平成29年度に策定した水道事業経営戦略に基づき、平成31年度から現在の水道経営を維持するため上水道事業を簡易水道事業へ移行する手続きを進めていることから、その内容を調査したものです。

1. 上水道から簡易水道への移行について

水道事業の簡易水道への移行については、平成29年度に所管事務調査した「水道事業経営戦略策定」において、委員会意見として「計画は十分理解できる。」としており、前例のない上水道から簡易水道への許可変更を進め、予定通り新年度から簡易水道に移行できることについては評価する。

今回示された許可変更に伴う事業計画等については、おおむね理解するが、以下の点について、引き続き検討を要すると思慮する。



美山浄水場

(1) 美山浄水場の前処理施設の設置について

美山浄水場前の前処理施設整備計画は、必要であると理解するが、原水濁度上昇の原因と考えられる河川上流周辺の環境整備を進めなければ根本的な問題解決にならないと思慮する。水源地周辺の民有林所有者等と協議し、環境改善を図るよう検討を望む。

(2) 水道料金の見直し検討について

水道料金見直しの検討は、昨年2月の当委員会でも意見を示しているが、今回の資料や説明からは検討（利用現況把握等）されていないと憂慮する。説明では、簡易水道移行に重点を置いており、水道料金の見直しは、簡易水道移行後の経過を見て検討したいとのことだが、町内の現状は前回見直しの平成8年度と比較すると、世帯当たりの人数減、高齢化に伴う独居世帯の増加や人口減少・経営環境悪化等に伴う事業所形態の変化（縮小・倒産・廃業等）等、全く異なった状況となっている。

給水収益が減少している状況で、水道を維持するための一定の収益確保が難しいことは理解するが、利用者の不公平感解消等、できるだけ早い段階で水道料金全体の政策的見直しが必要と思慮する。

(3) 給水区域拡大（福島ニュータウン）への対応について

新たに給水区域に含めた福島ニュータウンは、現実に4世帯が生活しており、給水区域とし、町が対応することは理解する。しかし、造成地全体の今後の利用を考えると、このまま放置しておくことはできないと思慮する。

町においては、改めて所有者と協議を進めるとともに、ニュータウンに係るこれまでの経緯等を整理し議会に提示されたい。

議会基本条例等に関する審査特別委員会

【審査概要】

平成30年度定例会12月会議において、本特別委員会に付託された案件、

- ①「議会基本条例の一部改正」、
- ②「議会会議条例の一部改正」、
- ③「議会議員政治倫理条例の制定」、
- ④「議会参画奨励条例の制定」

ほか議会基本条例関連規定の検証により新たに改正・制定される条例・規則・要綱等について審査したものです。

【審査経緯】

議会基本条例改正に関連した4案件については、内容を集中的に審査するため本委員会に付託され、昨年12月から本年2月までの間、3回の特別委員会で審査しました。

特別委員会の開催状況等

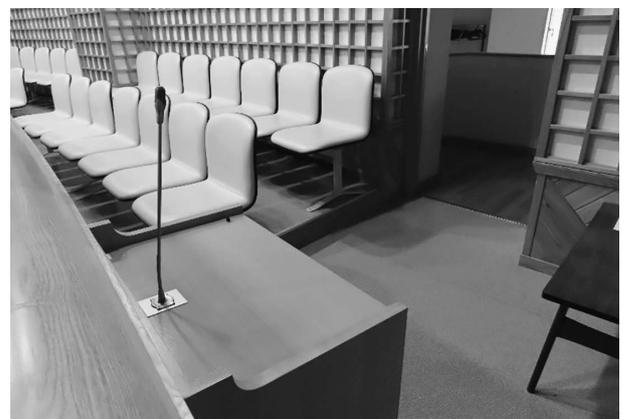
- (1) 第1回 平成30年12月13日
委員長の互選と、審議日程等の協議を行った。
- (2) 第2回 平成31年1月30日
付託された案件4件と、関連する条例等2件の審査を行った。
- (3) 第3回 平成31年2月18日
付託された案件と第2回で説明のあった関連条例等2件に関連する13件の規則や要綱等の制定と一部改正の審査を行い、付託された案件4件について採択を行った。

【審査結果】

付託された4件のうち、「議会基本条例の一部改正」については、条文の整理が必要とこのことから修正案を提出し、採択の結果「原案の一部を修正して議決すべきもの」とした。残り3案件については、いずれも原案のとおり議決すべきものとした。



全戸配布した議会基本条例改正特集号



議会参画奨励条例の制定に伴い設置した傍聴席マイク
・議員間討議の後、意見を聴く機会を設けました。

町民と議員との懇談会

～わかりやすく町民が参画する議会～

【町民との懇談会とは】

議会では、議会基本条例に基づき、全議員出席のもと、町民に対する説明責任を果たし、情報を共有するため議会報告会を開催しています。名称を「町民と議員との懇談会」とし、全町内会（18会場）を対象に議員が3班に分かれ開催する形を平成24年度から取り入れ、本年度で6回目となりました。

平成30年度は、2月4日から14日までの6日間、町内18会場で実施しました。



新栄町町内会



緑町町内会



吉岡1・2・3町内会

◎意見等の総括

平成30年度の懇談会の参加状況は、延べ6日間、18会場で106人（男75人、女31人）、最大は11人、最少は2人、1会場平均は5.8人でした。

今回の懇談会では、議会だより第120号(平成31年2月1日発行)を資料として説明しましたが、がんばる地元企業等応援事業やアワビ陸上養殖事業への関心などの意見が出されました。また、除雪の苦勞や、木古内自動車学校の閉鎖、道の駅、岩部海岸クルーズなど、多岐にわたる意見が出され、町民との情報共有が図られたものと思います。

各地区から一番多く出ていたのは木古内自動車学校の閉鎖で、高校生の免許取得の大変さや、高齢者の免許更新について四町で対策を講じられないかとの意見がありました。

議会報告会を継続して実施して行くことが、町民への議会活動の理解を深める機会にもなり、肌で、町民に接することが重要であると感じました。

さらに、出された意見を議会として総括し、それぞれの議員活動に活かし、議会活動に連動させ、政策提言へと進展させる実践が必要です。

議会としては、今回出された意見の内容から、一般質問、予算審議へ繋げる、あるいは、所管事務調査を実施し政策提言へ連動するなど、点から線へと活動を展開させ、町民の負託にこたえ、豊かなまちづくりのための不断の努力を続けます。

*懇談会の結果を「実施報告書」にまとめ町執行部へ手交しております。

◆ 議会の評価 ◆

【平成30年度(1年間)の活動結果】

議会は、町民に議会・議員の活動内容を周知し、情報を共有することにより、議会活動の活性化を図るため、しっかりと現状を把握し議会の評価を行っています。

議会活動を主要10項目と具体的な37項目に区分し議員・議会の活動状況の基礎資料と、全国・全道の町村議会の実態や先進的な運営をしている議会などと比較検討し、議会運営委員会（4月25日決定）が評価して町民に公表するものです。

平成30年度には、「議会活動評価要綱」を制定し、今回から同要綱に基づき、実施しました。

前年度との比較では、良化が1件（議会の活性度：一般質問）で、悪化した項目はありませんでした。

本年度も引き続き、「町民が実感できる政策を提言する議会」を目指し、評価結果・諮問会議の意見を参考にしながら新たな課題を設定し、豊かな町づくりを目指して不断の努力を続けてまいります。

【評価の分類：○＝「概ね一定の水準にある」 △＝「一部水準に達していない」 ▲＝「取組が必要」

主要評価項目	具体的な項目	過去3年間の評価			H30評価	摘 要
		H27	H28	H29		
1. 議会の活性度	①一般質問	△	△	△	○	昨年度に比べ質問者の延べ人数、項目数共に2件増加した。1定例会平均質問者数4.0人(44.4%)(全国6.1人(51.0%)、全道4.5人(40.5%)、渡島管内4.3人(34.9%))となっている。より、積極的な一般質問への取組みが必要である。
	②一般質問答弁事項等追跡調査			○	○	本会議、予算審査・決算審査特別委員会での一般質問等に対する町長、副町長、教育長の答弁内容に一定の指定事項を設け、追跡調査を行っている。(追跡調査件数 H28=5件、H29=2件、H30=2件)
	③質疑・意見交換	○	○	○	○	本会議、予算・決算審査特別委員会での審議も活発に行っている。引き続き質疑内容を充実する。(平均質問者・件数：定例7.8人 31.3回、定例外3.7人 6.3回、委員会3.1人 12.2回)(平均意見交換件数：定例4.5人 14.3回、定例外3.7人 12.3回、委員会3.5人 19.7回)
	④討議・討論(本会議)	△	△	△	△	常任委員会所管調査、事前勉強会等の実施により本会議での討議・討論は少ないものとなっているが、引き続き論点・争点を明らかにした討議・討論への取組みが必要である。(H29=0件、H30=0件)
	⑤討議(委員会)	○	○	○	○	各種委員会において質疑・意見交換で出された内容を論点整理した項目に沿って活発な議員間討議を行っている。(H30開催日数：常任委員会=18日、特別委員会=9日)
	⑥議員提案	○	○	○	○	一般質問項目を常任委員会で検討しているが、所管調査として取組む事案はなかった。所管事務調査結果を行政側に手交することで議会の考えが政策等に反映されるようになっている。条例提案による政策反映に至る案件はなかった。
	⑦文書質問	△	△	△	△	質問が特定の議員に偏っている。政策提案等に向けた文書質問への取組みが必要である。(H29=実3人、5項目 H30=実2人、8項目)
2. 議会の公開度	①委員会の公開	○	○	○	○	本年度は100%公開し、委員会もライブ中継を行っている。
	②審議記録の公開	○	○	○	○	ホームページで全て公開している。
	③審議前の会議資料の公開	○	○	○	○	基本的に全て公開している。
	④議会経費の公開	○	○	○	○	決算内容を含め、交際費・政務活動費などの詳細も全て議会だより・HPで公開している。
	⑤視察報告の公開	○	○	○	○	本会議・ホームページで公開している。
	⑥全員協議会の公開	○	○	○	○	ライブ中継・録画配信を行っている。
	⑦会議公開の充実(ライブ中継)	○	○	○	○	適宜、配信機器の更新を実施し、鮮明な映像配信を行っている。町民からの要望に応え、スマートフォンでの視聴も可能(録画配信のみ)となった。全道=73議会(議会中継実施)
3. 議会の報告度	①議会だより・速報版等の発行	○	○	○	○	議論状況や内容をより分かりやすくまとめ、質疑等の掲載も充実させた。H28.6月発行分からは文字サイズを拡大している。全道=単独発行122議会
	②議会ホームページの運用	○	○	○	○	H28年3月より議会ホームページをリニューアルした。引き続き、迅速な公開に努める。全道HP=126議会

※「討論」とは、議会の本会議において、表決の前に、議題となっている案件に対し、賛成か反対の議員個々の意思を表明すること。

主要評価項目	具体的な項目	過去3年間の評価			H30評価	摘要
		H27	H28	H29		
4. 住民参加度	①各種団体との懇談会の開催（常任委員会の活動）	△	△	△	△	テーマと開催方法（住民主催等）を工夫した取組みが必要である。 [懇談会：H28＝2回、H29＝2回、H30＝2回]
	②町民と議員との懇談会の開催	○	○	○	○	H30も議員を3班に分け町内会単位で実施した。引き続き懇談内容の充実への取組みが必要である。 (H29＝6日間・18会場103人、H30＝6日間・18会場106人) 全道＝68議会
	③参画者への対応と参加度	○	○	○	○	参画者にも同様の資料を用意している。討議への参画が課題である。 (H29＝定例18人、平均4.5人 定例外8人、平均1.6人) (H30＝定例18人、平均4.5人 定例外7人、平均2.3人) (全道平均＝定例11.6人、定例外1.7人)
	④休日・夜間議会の開催	○	○	○	○	H19から夜間議会の開催している。休日議会は未実施である。 (参画者H29＝6人、H30＝8人) 全道＝夜間6議会、休日8議会
5. 議会の民主度	①一般質問の一問一答方式	○	○	○	○	一問一答方式を実施している(H12)。質問回数と時間制限の規定を廃止している(H20)。全道＝114議会（一問一答方式採用）
	②説明員との対面方式	○	○	○	○	庁舎建設時から実施している(H6)。全道＝129議会
	③一般質問の答弁書配付	○	○	○	○	実施済み(H13.9)。質問に関する的確な（漏れや補足答弁を必要としない）通告書、答弁書となるように改善していくことが必要である。
6. 議会の監視度	①長との適正な関係の維持	○	○	○	○	福島町議会議員の不当要求行為等を防止する条例を制定(H20)、前記条例の内容を拡充した福島町議会議員政治倫理条例を制定(H30)、町長との適正な緊張関係を維持している。
	②全員協議会の適切な運用	○	○	○	○	事前協議となるような執行者からの要請による開催はしない。
	③議会権能（けん制・批判・監視等）の適切な遂行	○	○	○	○	定例会毎に議会運営等に係る反省点を洗い出し行政側に説明し文書を手交している。常任委員会等で取りまとめた調査意見（報告書）を行政側に手交し説明することで委員会の意向が政策に反映されるようになっている。
7. 議会の専門度	①所管事務調査の充実強化	○	○	○	○	常任委員会の所管事務調査は論点・争点を整理し委員間で討議し意見をまとめている。委員会の意見が政策に反映されるよう、調査意見（報告書）を行政側に手交し説明している。[H30調査件数20件]
	②政策立案・審議能力の向上強化	○	○	○	○	各常任委員会所管事務調査において、条例の制定・改正、事業計画等の案件について、議会として町民の利益になるような修正意見を提言している。 ・町内会館等管理方針の見直しについて ・岩部地区交流センター管理条例の制定について ・陸上アワビ養殖施設の状況について ・合葬式墓地整備事業について ・水道事業の簡易水道への移行について 等
	③議決権範囲の拡大	○	○	○	○	町の主要計画を議決対象としたことで、各計画が広く認識され内容の充実に繋がっている。平成28年度・30年度に見直しを行っており現在の議決事件は14件となっている。
8. 事務局の充実度	①議場・委員会室の整備充実	○	○	○	○	議場映像設備(H27)、議場等音響設備(H28)の更新を行うなど、設備の適正管理により映像配信等の精度向上が図られている。
	②事務局の充実強化	○	○	○	○	情報公開の迅速化、充実した情報・資料収集、法務能力の向上などに取り組んでいる。体制は正職員3人、臨時1人で充実している。
9. 適正な議会機能	①法規定以外の執行部付属機関への委員就任廃止	○	○	○	○	法定となっている、都市計画審議会のみ就任している。
	②適正な議会経費	○	○	○	○	諮問会議の答申を踏まえ、適正な議会活動費の基準となる標準額を決定、平成30年度見直しした。(当初標準額＝3,184千円・H30見直し標準額＝4,355千円)
	③議会の自主性強化	○	○	○	○	「議会基本条例見直し検討による行動計画」に基づき課題に取り組んでいる。平成21年度より年度を期間とした「通年議会」を実施している。議会基本条例等の検証と実績の反映を期し、全体的にわかりやすく改正、新たに2条例・7要綱を制定（議会参画条例・政治倫理条例等）
	④議会付属機関の設置	○	○	○	○	福島町議会基本条例諮問会議を設置し毎年度数項目を諮問し、それぞれ答申を受け議会活動に反映している。
	⑤系統議長会の体制整備	○	○	○	○	道議長会に対し、町村議会が利用しやすいホームページへの見直しを要望している。(資料提供、道内の町村議会のリンク等)
10. 研修活動の充実強化	①研修の効率的な取組み	○	○	○	○	本会議等の事前勉強会を実施し議案等の要点や問題点を確認している。議員研修会の報告会を開催し情報共有を図っている。また、町の懸案事項等に関連して真狩高等学校(特色ある高等学校教育の取り組み)、仁木町議会(議選監査委員の廃止)を視察研修している。

議会評価に対する諮問会議意見

5月13日に開催された「議会基本条例諮問会議」の意見は、下記のとおりでした。

◎新たに追加する項目及び意見等はなく、議員による議会評価は適切に行われている。



「議員活動の自己評価」

平成30年度分（平成30年4月～平成31年3月）

平成17年分の議会活動から始めた議員の自己評価は、今回で14回目となります。右表の5主要指針について具体的に取組んだ事項を3段階で自己評価したものです。

集計の結果、「取組の評価」については、項目全体の151項目中、「○ほぼ満足」は79件で52%、「△努力が必要」は65件で43%、「▲さらに努力が必要」は7件で5%となりました。

次に、「結果の評価」については、項目全体の151項目中、「○ほぼ満足」は45件で30%、「△努力が必要」は68件で45%、「▲さらに努力が必要」は38件で25%となりました。

取組の評価では「○ほぼ満足」が52%であるが、結果の評価では30%と大きく差があります。このことから、今後も各議員の取組みが今まで以上に結果として反映されるように努力する必要があります。

また、議員個人としての活動について、3名の議員から報告がありました。

□ 自己評価は次の指針により実施しています。

主要指針	評価の指針等
1. 態度評価	町民の立場で発言・行動をしているか。議会での態度（居眠り、私語など）、審議の態度（品位の保持、審議への協力）
2. 監視評価	一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）などで行政執行をチェックしたか。
3. 政策提言評価	町民の意向を政策に反映させるため、行政への一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）などで政策提言をしたか。
4. 政策実現評価	一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）などで指摘した事項が改善されたか。政策提言した事項が実現したか。
5. 自治活動・議会改革取組み評価	議会報告をしているか。地域活動へ参加しているか。町づくりなどへの貢献度はどうか。町民ニーズの把握はどうか。

○議員別の評価集計

議員名	杉村 志朗		川村 明雄		花田 勇		木村 隆		平沼 昌平	
	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	4	3	14	5	10	2	5	3	17	10
△ 努力が必要	9	8	6	10	1	9	4	6	1	7
▲ さらに努力が必要	0	2	0	5	0	0	0	0	0	1
計	13	13	20	20	11	11	9	9	18	18

議員名	佐藤 孝男		熊野 茂夫		平野 隆雄		溝部 幸基		合計	
	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	15	10	9	8	3	2	2	2	79	45
△ 努力が必要	0	5	3	4	15	9	26	10	65	68
▲ さらに努力が必要	0	0	0	0	1	8	6	22	7	38
計	15	15	12	12	19	19	34	34	151	151

〔分野別の評価種類は、次のとおり省略しています。「取組」＝取組の評価 「結果」＝結果の評価〕

○議員個人としての活動

	川村明雄	花田 勇	溝部幸基
報告会等の実施	—	2	1
議員だよりの発行	—	—	—
個人ホームページの開設	○	—	○
その他	—	—	—

●議員活動の目標（公約）

選挙公報による公約とともに、適正な議会・議員の役割を果たすために、前年の自己評価による反省点や課題などを翌年の議会・議員活動の目標（公約）として、平成19年から公表しています。

本年度は、9名の議員で総数147項目（昨年度：10名提出 155項目）となりました。

【個人票はP26～P27に掲載しています。】

「議員」の評価結果（個人票）

評価の分類：○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」 ▲＝「さらに努力が必要」

評価期間：平成30年4月～平成31年3月

杉村志朗 70歳

経済福祉常任委員会委員

議員歴20年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	職員の健康管理に対する取組	△	○
	町民に不安のない町づくり	△	△
	今後の各施設に関する指定管理者問題	△	△
財政	健全財政運営	○	○
	空家住宅（景観条例）等の助成見直し	△	△
経済	産業団体との積極的懇談	○	○
	水産加工業の安定支援	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	高齢者に対する各種行事の参加増	○	△
教育	学校の環境美化の改善	△	△
	委託施設の管理の徹底強化	△	△
	福島高校への入学者増に向けた対策強化	△	▲
その他	観光施設の充実誘致（観光客増期待）	○	▲
	一次産業（農業・漁業）の安定生活	△	△

川村明雄 73歳

総務教育常任委員会委員長、議会運営委員会委員 議員歴12年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	定住及び少子化対策への政策提言	○	△
	住民が誇れる魅力あるまちづくりの考察と提言	○	△
	町内の国道改良及び第二の青函トンネル構想推進	○	△
財政	ふるさと応援基金や財政調整基金の有効活用	△	▲
	町総合計画と将来的安定財源の確保、推進	○	△
	「道の駅」構想に関する経済、財政面からの考察	△	△
経済	空き家利活用の対策提言	○	▲
	起業及び企業者支援対策の考察、推進	△	△
	定住促進に繋がる経済対策の考察、提言	△	△
福祉	少子化対策と子育て支援対策の推進	○	○

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	吉岡温泉ゆとらぎ館改修案の提言	△	▲
	住民の望む医療対策の充実確保	○	○
教育	福島高校存続対策の推進及び小中高一貫教育の考察	○	▲
	学校教員の労働過重問題への考察、検討	○	○
	生涯学習課題の考察と推進	○	△
その他	松前半島道路計画の推進	△	△
	町内会を始めとするボランティア及び文化活動の推進	○	○
	原子力発電からクリーンエネルギー社会への考察	○	▲
	長寿と定住に繋がる関係課題の考察探究	○	△
	介護・子育て・防災減災・中小企業アンケートの実施	○	○

花田 勇 78歳

経済福祉常任委員会副委員長、議会運営委員会副委員長 議員歴8年
福島西部広域事務組合議会議員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	福島町の活性化への提言	○	△
	町民のために経費削減しながらの行政で在るため努力	○	△
財政	いかに財政健全で安定した行政で在るかを提言	○	△
経済	一次産業が元気になるよう今後努力	○	△
	陸上養殖アワビ事業や間引き昆布等のさらなる推進に提言	○	○

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	町民のための町立診療所の安定した運営に努力	○	△
	高齢者や障害者に対する公共施設の充実	△	△
教育	小中学校生の学力向上に努力	○	△
	福島小学校と吉岡小学校の統合問題を注視	○	△
その他	町民と議員との懇談会に参加者が多くなり活発になるよう努力	○	△
	各種行事への参加	○	○

木村 隆 39歳

総務教育常任委員会副委員長、監査委員 議員歴12年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	総合計画後期に向けた提言	○	○
経済	松前半島高規格道路整備の推進	△	△
	都市計画に基づく町、地域のあり方を考える（コンパクトシティ）	○	○
	改良住宅建て替え、子育て住宅建設への注視	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	資格者確保への提言（保育士、看護師）	○	△
教育	高校存続の新しいしくみ作り	△	△
	学校選択制スタートへの提言	○	○
その他	観光協会の事務体制のあり方	△	△
	新たな道の駅政策の注視	○	△

平沼昌平 63歳

議会運営委員会委員長、経済福祉常任委員会委員 議員歴14年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	雇用の場の創出に向けた提言	○	△
	防災対策に対しての提言と危機管理の充実に向けた取組の提言	○	○
財政	効率的な事務事業を検証し、経費節減に対して提言	○	○
経済	後継者育成と定住促進に向けた提言	○	△
	一次産業に対する施設整備の提言と経営安定化に対する提言	○	○
	町内インフラ整備の充実と保守維持体制の推進に対する提言	○	○
福祉	高齢者の生活環境の充実とサポート体制へ提言	○	○
	健康な町づくりに対する保健医療環境の充実した体制づくりの提言	○	△
	在宅介護支援体制の充実した体制づくりの提言	○	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
教育	少子化による学校教育の環境整備と地域環境の在り方の提言	△	△
	社会教育施設環境の整備に対しての提言	○	△
その他	松前半島高規格道路整備に向けた取組体制の提言	○	○
	有害鳥獣駆除に対する後継者育成支援体制の充実と後継者確保及び事業の広域化（4町）取組の環境整備に対しての提言	○	○
	吉岡総合センターの活用と運営に対しての提言	○	○
	安心安全な道路網の整備と保全体制の充実に対しての提言	○	○
	漁業の新たな養殖事業や既存養殖事業の環境整備の支援体制の提言	○	△
	水産加工業に対する支援体制と雇用体制の充実に対しての提言	○	▲

佐藤孝男 72歳

総務教育常任委員会委員、渡島西部広域事務組合議会議員 議員歴24年
渡島廃棄物処理広域連合議会議員、議会運営委員会委員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	防災対策の推進	○	○
	各公共施設の改修と今後の管理運営	○	○
	がんばる応援基金の有効利用の推進	○	○
財政	将来を見据えた無駄のない財政健全化の推進	○	○
	総合計画の推進、ローリングのチェック強化	○	○
経済	しいたけ、ほだ木の確保と将来への見通し	○	△
	一次産業（農業・漁業）の振興、新規就業者の育成	○	△
	養殖事業（アワビ・ウニ・ナマコ）の推進と事業の検証	○	○

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	介護予防サービスの充実強化	○	○
	予防医療の推進	○	△
教育	学校給食センターにおける地場産物利用の強化	○	△
	福島商業高校存続の対策強化、推進	○	△
	食育への取組みとして体験学習の実施	○	○
その他	各種行事等の参加	○	○
	町内会活動の積極的な取組み	○	○

熊野茂夫 69歳

経済福祉常任委員会委員長、議会運営委員会委員 議員歴8年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	「総合計画」の確実な推進とその検証をいたします。	○	○
	大型公共施設の再整備と改修への諸提言をいたします。	○	△
財政	将来を見据えた予算編成への諸提言をいたします。	○	○
	過去の諸施策を財政的視点より検証します。	○	○
経済	「養殖事業」の安定と発展のための諸提言をいたします。	△	△
	農林業への実効性のある諸施策の提言をいたします。	○	○

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	高齢者が利用しやすい公共施設の改修・整備への提言をします。	△	△
	国民健康保険・介護保険会計の健全な財政運営への諸提言をいたします。	○	○
教育	学校教育施設の再編及び充実のための施策提言をいたします。	○	○
	社会教育への諸施策の提言をいたします。	○	○
その他	各地域の実情に応じた、生活環境改善への提言	○	○
	「道の駅」の改修及び新設への提言をいたします。	△	△

平野 隆雄 70歳

副議長、広報・広聴常任委員会委員長、
総務教育・経済福祉常任委員会委員、渡島廃棄物処理広域連合会議員

議員歴23年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	第二の青函トンネル構想推進	○	▲
	町内景気の活性化の推進	△	▲
	福島川改修事業の推進	△	▲
財政	財政健全化の確立	△	△
	各町内会館の利用等をふまえ再編推進	△	△
	町立診療所運営の健全経営の実現	△	▲
経済	養殖コンブ製品増の推進	○	○
	蝦夷アワビ（養殖）の新たなブランド開発推進	△	▲
	町内各産業の新たなブランド開発推進	△	▲
	町内起業家の育成、支援対策	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	超高齢化と超人口減少に対する町づくりの提言	▲	▲
	吉岡温泉ゆとらぎ館の利用増の提言	△	△
	がん検診の検診率向上推進	△	△
教育	少子化の中の教育行政の研修推進	○	○
	学芸員配置で縄文土器等による町づくり	△	△
	福島商業高等学校入学増へ対策強化推進	△	△
その他	学校における相撲人口増の推進	△	△
	岩部海岸クルーズ中心の交流人口の活性化推進	△	△
	伊能忠敬公園の観光客増に向けたPR活動等への提言	△	▲

溝部 幸基 71歳

議長、総務教育・経済福祉常任委員会委員、
渡島西部広域事務組合会議長、

議員歴39年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進（総合計画条例に関する提言）	△	△
	自律、協働の「小規模多機能自治」の調査研修	△	▲
	「公契約条例」に関する調査研修	△	▲
	行政サービスの効率的な運営への提言（外部委託・時間差出勤・研修等）	△	▲
	防災対策の提言（災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修）	△	▲
	「平和の町宣言」に関する調査研修	△	△
	浄化槽（下水道整備）の普及推進	▲	▲
	選挙運動費用公費負担制度の検証	△	▲
財政	財政健全化への取り組み（予算決算審査・行政評価充実：基金有効活用）	△	△
	退職手当制度の抜本的改善	▲	▲
	地方自治法改正による監査制度の検証（議選監査委員・議会監査の在り方）	△	▲
経済	新しい仕事の創出（起業）に挑戦できる支援システムの創設	△	△
	異業種連携による「福島ブランド」の開発	△	▲
	地場産品の6次産業化に関する調査研修	△	▲
	産業団体と課題に取り組む産業公社的仕組みづくりの調査研修	△	▲
	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修	△	▲

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	過疎自治体における超高齢化対策の調査研修	△	▲
	「健康な町づくり」（全町的な取組）で医療費節減	▲	▲
	予防医療の推進	▲	▲
	在宅介護支援体制の整備	△	▲
	上水道事業の簡易水道移行（用途別基本水量・水道料金）	△	△
教育	小中学校一貫教育、コミュニティースクールに関する調査研修	△	▲
	過疎自治体における高等教育推進の調査研修	△	▲
	「子育て基本条例」制定に向けた取組（情報収集）	▲	▲
	「自分（達）ですべき事は自分（達）でする」主体性をもった自治活動の推進	△	▲
その他	食育・地産地消の推進（「食育基本計画」→情報収集・実践計画・研修）	△	▲
	わかりやすく、町民が参加出来る議会の実現（議会基本条例の周知）	△	△
	活発な討議（討論）ができる議会の実現	△	△
	政策的な提案のできる議会の実現	△	△
	町議会議員選挙への供託金制度導入	▲	▲
	幅広い情報収集、積極的な研修参加	△	△
	視察の積極的な受け入れ（湯川村・斜里町・山田町・宮古市・新篠津村・津軽市・小坂町・大村市・計8自治体69名：3市5町村）	○	○
	ホームページの充実（提案、情報発信、参加型）	△	△
各種行事、研修への積極的な参加（活動実日数272日）	○	○	

議員活動の目標（公約）（個人票）

目標期間：平成31年4月～令和元年8月

〔杉村志朗〕

分野	具体的な目標項目
行政	第2青函トンネル実現に向けた構想の推進 状況に合った条例の見直し改正
財政	町民が安心できる財政健全化の推進 空家住宅（景観条例）等の整備推進
経済	一次産業の安定支援 養殖（ウニ・アワビ）の将来を考えた支援
福祉	高齢者による健康管理事業の確立推進 高齢者に対する各種行事の参加増
教育	少子化による学校教育の充実 福島高校への入学者増に向けた対策強化 岩部海岸クルーズ事業による観光客の増
その他	町内における花一杯運動の推進 商店街の活性化

〔川村明雄〕

分野	具体的な目標項目
行政	定住及び少子化対策への政策提言 第二の青函トンネル構想推進
財政	ふるさと応援基金や財政調整基金の有効活用 「道の駅」構想に関する経済、財政面からの考察
経済	空き家利活用の対策提言 定住促進に繋がる経済対策の考察、提言
福祉	少子化対策と子育て支援対策の推進 吉岡温泉ゆとらぎ館改修案の提言
教育	デマンドバスの利用拡大対策 福島高校存続対策の推進及び小中高一貫教育の考察 学校教員の働き方改革への考察、検討
その他	松前半島道路計画の推進 町内会を始めとするボランティア及び文化活動の推進 長寿と定住に繋がる関係課題の考察探究

〔花田勇〕

分野	具体的な目標項目
行政	若者の定住のために、養殖施設の拡大や業種（新しい物）を多くする提言
財政	第5次総合計画の推進とともに無理のない財政運営の提言
経済	農業・漁業の後継者育成（一次産業活性化に対する提言）
福祉	今後も高齢者や町民のための医療や安心安全なサポート体制を提言
教育	福島商業高等学校の存続のための提言
その他	青の洞窟を始めとする2つの記念館等のPRを多くして観光客を呼び込むための提言

〔木村隆〕

分野	具体的な目標項目
行政	総合計画後期に向けた提言 がんばる地元応援事業と起業支援の見直し 道の駅の方向性の明確化
経済	アワビ陸上養殖の事業化の推進 改良住宅建て替えの提言 水産加工業への雇用・原料確保対策
福祉	保育士の確保 介護対策（地域支援事業）の推進
教育	英語・プログラミング等2020年教育への注視 高校存続と地域高校のあり方の検討
その他	松前半島高規格道路整備の推進 第2青函トンネル構想の推進 木古内自動車学校閉校に対する生徒支援

〔平沼昌平〕

分野	具体的な目標項目
行政	雇用の場の創出に向けた提言
財政	効率的な事務事業を検証し、経費節減に対して提言
経済	後継者育成と定住促進に向けた提言 一次産業に対する施設整備の提言と経営安定化に対する提言 町内インフラ整備の充実とサポート体制の推進に対する提言
福祉	高齢者の生活環境の充実とサポート体制へ提言 健康な町づくりに対する保健医療環境の充実した体制づくりの提言
教育	少子化による学校教育の環境整備と地域環境の在り方の提言 社会教育施設環境の整備に対しての提言
その他	松前半島高規格道路整備に向けた取組体制の提言 有害鳥獣駆除に対する後継者育成支援体制の充実と後継者確保及び事業の広域化（4町）取組の環境整備に対しての提言 吉岡総合センターの活用と運営に対しての提言 安心安全な道路網の整備と保全体制の充実に対しての提言 漁業の新たな養殖事業や既存養殖事業の環境整備の支援体制の提言 水産加工業に対する支援体制と雇用体制の充実に対しての提言

福島町長 福島町議会議員 選挙の日程

任期満了に伴う福島町長・福島町議会議員選挙の日程は、次のとおりです。

告示日 8月11日(日)

投票日 8月16日(金)

〔佐藤孝男〕

分野	具体的な目標項目
行政	防災対策の推進（避難訓練のあり方）
	大型公共施設の整備と改修の提言
	がんばる応援基金の見直しと有効利用の推進
財政	将来を見据えた無駄のない財政健全化の推進
	総合計画の推進とチェックの強化
経済	ほだ木の確保のため町有林の再調査と作業路の整備推進
	一次産業（農業・漁業）の振興、新規就業者の育成
福祉	予防医療の推進と健康フェスティバルを通して医療費の節減
	福島商業高校存続の対策強化
教育	学校給食センターにおける地場産物利用の強化
	食育への取り組みとして体験学習の実施
その他	各種行事の積極的な参加

〔熊野茂夫〕

分野	具体的な目標項目
行政	「総合計画」の確実な推進とその検証
	大型公共施設の再整備と改修への諸提言
財政	過去の諸施策を財政的視点より検証
	将来を見据えた予算編成への諸提言
経済	前浜漁業と「養殖事業」の安定と発展のための諸提言
	農林業への実効性のある諸施策の提言
福祉	高齢者が利用しやすい公共施設の改修・整備への提言
	国民健康保険・介護保険会計の健全な財政運営への諸提言
教育	学校教育施設の再編及び充実のための施策提言
	社会教育への諸施策の提言 とりわけ、図書館充実のための提言
その他	各地域の実情に応じた、生活環境改善への提言 「道の駅」の改修及び新設への提言

〔平野隆雄〕

分野	具体的な目標項目
行政	第二の青函トンネル構想推進
	町内景気の活性化の推進
	福島川改修事業の早期実現
財政	財政調整基金の活用
	町立診療所運営の健全経営の実現
	各町内会館の再編推進
経済	養殖コンブ製品増の推進
	蝦夷アワビ（養殖）の新たな商品開発推進
	スルメ加工以外の商品開発の推進

分野	具体的な目標項目
福祉	超高齢化と超人口減少に対する町づくりの提言
	吉岡温泉ゆとらぎ館の利用増の提言 がん検診の検診率向上推進
教育	少子化の中の教育行政の推進
	学芸員配置で縄文土器等による町づくり 福島商業高等学校入学増の推進
その他	学校等における相撲人口増で横綱の里の推進
	岩部海岸クルーズ中心の交流人口の活性化推進 伊能忠敬公園の観光客増に向けたPR推進

〔溝部幸基〕

分野	具体的な目標項目
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進 （各種計画に関する提言・検証）
	自律、協働の「小規模多機能自治」の調査研修
	「公契約条例」に関する調査研修
	行政サービスの効率的な運営への提言 （外部委託・時間差出勤・研修等）
	防災対策の提言 （災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修）
	「平和の町宣言」に関する調査研修
	浄化槽（下水道整備）の普及推進
	選挙運動費用公費負担制度の検証
財政	財政健全化への取り組み （予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用）
	退職手当制度の抜本的改善
経済	新しい仕事の創出（起業）に挑戦できる支援システムの創設
	異業種連携による「福島ブランド」の開発 （ブランド化システムの再検討）
	地場産品の6次産業化に関する調査研修
	産業団体と課題に取組む産業公团的な仕組みづくりの調査 研修
	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づ くり」の研修

分野	具体的な目標項目
福祉	過疎自治体における超高齢化対策の調査研修
	「健康な町づくり」（全町的な取組）で医療費節減
	予防医療の推進 在宅介護支援体制の整備 簡易水道料金の見直し（用途別基本水量・水道料金）
教育	小中学校一貫教育、コミュニティースクールに関する調 査研修
	過疎自治体における高等教育推進の調査研修
	「子育て基本条例」制定に向けた取組（情報収集） 「自分（達）ですべき事は自分（達）でする」主体性をも った自治活動の推進
その他	食育・地産地消の推進（「食育基本計画」→情報周知・ 実践計画・研修）
	わかりやすく、町民が参加出来る議会の実現（議会基本 条例の周知）
	活発な討議（討論）ができる議会の実現
	政策的な提案のできる議会の実現
	町議会議員選挙への供託金制度導入
	幅広い情報収集、積極的な研修参加
	視察の積極的な受け入れ ホームページの充実（提案・情報発信・参加型） 各種行事、研修への積極的な参加

◆ 会議等出席状況 ◆

会議や議会へ通知があった行事等の2月から5月までの出席状況をお知らせします。
「○」は出席、「×」は欠席、「－」は出席不要・任意、「◎」は委員外議員として出席、「△」は別公務・病欠のため、「職」は正副議長の職務出席を表しています。

年月日	会 議 ・ 行 事 名	杉村	川村	花田	木村	平沼	佐藤	熊野	平野	溝部
2月1日	宮歌・豊浜町内会館オープンセレモニー	○	○	○	－	○	○	○	○	○
2	町内会連合会総会	－	－	－	－	○	－	－	－	○
4	町民と議員との懇談会（町内3会場）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	町民と議員との懇談会（町内3会場）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	渡島廃棄物処理広域連合議会議会運営委員会	－	－	－	－	－	－	－	○	－
	町民と議員との懇談会（町内3会場）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	第2青函トンネル構想を実現する会設立総会・記念講演	－	○	○	○	○	○	○	○	○
8	総務教育常任委員会（岩部地区交流センター管理条例制定、平和宣言、防災計画の見直し）	－	○	－	○	－	○	－	○	○
	町民と議員との懇談会（町内3会場）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	渡島町村議長会総会（函館市）	－	－	－	－	－	－	－	－	○
13	町民と議員との懇談会（町内3会場）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	農業協同組合通常総会	－	－	－	－	－	○	－	－	○
	渡島廃棄物処理広域連合議会全員協議会・第1回定例会	－	－	－	－	－	○	－	○	－
	町民と議員との懇談会（町内3会場）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	渡島西部四町議会議員連絡協議会総会・研修会	－	○	○	○	○	○	○	○	○
18	議会基本条例等に関する審査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	松前地区更生保護サポートセンター開所式	－	○	○	－	－	○	○	－	○
22	渡島西部広域事務組協議会第1回定例会	－	－	○	－	－	○	－	－	○
	森林組合総会	－	－	－	－	－	－	－	○	△
25	北海道町村議会議長会創立70周年記念式典（札幌市）	－	－	－	－	－	－	－	－	○
	スポーツ・文化賞表彰式	－	－	○	－	－	○	－	○	△
27	経済福祉常任委員会（簡易水道への移行）	○	－	○	－	○	－	○	○	○
	総務教育常任委員会報告書手交	－	○	－	－	－	－	－	○	－
28	正副議長会議（定例会3月会議議案説明）	－	－	－	－	－	－	－	○	○
3月1日	一般質問通告	－	○	－	○	○	○	○	－	○
	議会運営委員会（定例会3月会議の運営）	－	○	○	－	○	○	○	職	職
	福島商業高等学校卒業式	－	○	－	－	－	○	○	－	○
4	議員勉強会（3月会議）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	自衛隊入隊者激励会・自衛隊家族会総会	－	－	－	－	－	－	－	－	○
8	定例会3月会議（1日目）・夜間議会（一般質問）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	予算審査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	職
	経済福祉常任委員会報告書・広報広聴常任委員会「町民と議員との懇談会実施報告書」の手交	－	○	－	－	○	－	○	○	○
12	予算審査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	職
13	予算審査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	職
	定例会3月会議（2日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（定例会3月会議反省事項）	－	○	○	－	○	○	○	職	職

年月日	会 議 ・ 行 事 名	杉 村	川 村	花 田	木 村	平 沼	佐 藤	熊 野	平 野	溝 部
3月15日	福島中学校卒業式	—	○	○	○	○	○	○	—	○
	議会運営委員会 3月定例会反省事項の手交	—	—	—	—	○	—	—	○	○
18	福島小学校卒業式	—	○	△	△	△	△	○	○	△
	吉岡小学校卒業式	—	△	○	○	○	○	△	△	○
20	福島幼稚園第64回保育証書授与式	—	○	—	—	—	—	—	—	○
27	認定こども園福島保育所卒園式	—	○	○	—	—	○	—	○	○
28	椎茸生産組合定期総会	—	—	—	—	—	—	—	—	○
	するめいか輸入関税に関する報告会	—	—	—	—	—	—	—	—	○
29	福島吉岡漁業協同組合通常総会	—	—	—	—	—	—	—	—	○
4月5日	認定こども園福島保育所入園式	—	○	○	○	○	○	—	—	○
8	福島小学校入学式	—	○	—	○	—	○	○	○	○
	福島中学校入学式	—	—	—	○	○	○	○	○	○
	福島商業高等学校入学式	—	○	—	○	○	○	○	—	○
10	福島幼稚園入園式	—	○	—	—	—	—	—	—	○
12	観光協会通常総会	—	○	—	—	—	—	—	—	○
17	森づくり協議会	—	—	—	—	—	—	○	—	—
19	商工会青年部通常総会	—	—	—	○	—	—	—	—	○
21	第19回北海道福島会（東京都）	—	—	—	—	—	—	—	—	○
25	議会運営委員会（議会評価）	—	○	△	—	○	○	○	職	職
	相撲協会総会	—	—	—	—	—	—	—	○	○
27	第72回松前さくらまつり開会式	—	—	—	—	—	—	—	—	○
5月8日	渡島総合開発期成会役員会（函館市）	—	—	—	—	—	—	—	—	○
12	北海道女だけの相撲大会	—	—	—	○	—	○	—	○	○
	議会基本条例諮問会議第1回会議	—	—	—	—	○	—	—	○	○
13	春の交通安全大会・祈願祭	—	—	—	—	○	—	—	—	○
	経済福祉常任委員会（前浜の天然資源の状況、岩部海岸クルーズ事業計画）	○	—	○	—	○	—	○	○	○
15	平成31年度福島町老人クラブ連合会総会	—	—	—	—	—	—	—	—	○
16	福島町商工会令和元年度通常総会	○	—	—	○	—	—	—	—	○
19	わんぱく相撲大会	—	○	—	—	—	—	—	○	○
20	総務教育常任委員会（デマンドバスの運行状況、町の広報活動）	—	○	—	○	—	○	—	○	○
21	議会運営委員会（議会だより編集）	—	○	○	—	○	○	○	職	職
23	まちづくり工房令和元年度社員総会	—	—	○	—	—	—	—	—	○
24	渡島西南四町議会議員連絡協議会第1回理事会	—	—	—	—	×	—	—	○	○
26	町民森づくり植樹祭	—	○	—	—	—	—	○	—	—
27	渡島廃棄物処理広域連合議会全員協議会・第1回臨時会	—	—	—	—	—	○	—	△	—
	渡島総合開発期成会定期総会（函館市）	—	—	—	—	—	—	—	—	○
28	町村議会議長・副議長研修会（東京都）	—	—	—	—	—	—	—	○	—
	令和元年度福島町交通安全推進協議会	—	—	—	—	—	—	—	—	○
30	令和元年度福島町交通安全推進協議会	—	—	—	—	—	—	—	—	○
31	定例会5月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○

29 福島町議会だより

町民の声

福島町を訪れて



見波 俊介さん
(新栄町)

長野県の本曾町より交流職員として福島町役場産業課農林係に配属となりました見波と申します。4月から半年間という短い期間ではありますが福島町にお世話になります。福島町に来て、長野県は海に接していないので海を見るだけで新鮮な景色が広がり感動しました。福島町では長野で経験できないことがたくさんあると思いますので公私ともに充実した日々を送れるようにしたいです。

また、短い間ですが福島町の住民のみなさまと触れ合う中で人柄や良いところを知っていただければと思います。たくさんの方の発見や経験を長野へ持ち帰りたいと思います。半年間、福島町のために長野での経験を活かしつつ仕事に励みたいと思います。よろしくお願ひします。

議員の雑感

町民と議員との懇談会から思う事



議会運営委員長
平沼 昌平

2月に議員が3班に分かれて各地区の町民の方々と懇談することが出来ました。町民と議員が、意見交換を通じて地域の課題を、積極的に議論する機会を設けることが出来、町民の皆様から頂いた課題が議会議論に結びつき、行政運営に提言できる事で視野が広がった気がします。町民の方々からもこれからの福島町はどの様にあるべきか、未来志向的な意見が多く出た気がして、嬉しく思っております。

地域の課題を議員がどのように議論したかは是非確認して欲しいと思います。それにより、議員も町民から負託されている存在だと再度自覚し、もっと町民から聞いた声を行政に提案し町民が注目する議会となることのできると思います。議会基本条例施行から10年が過ぎ、新たな改革で福島町の発展に結びつく議論の場となるよう、町民の皆様の期待に応えてまいります。

議会の主な会議・行事予定

※変更・追加となる場合もあります。

6月13日(木)	一般質問通告	午前10時～午後2時	
	議会運営委員会	午後3時～	委員会室 ・定例会6月会議の運営ほか
17日(月)	6月会議勉強会	午後1時30分～	議員控室
18日(火)	岩手県葛巻町議会視察受入れ	午前10時	議員控室
20日(木)	定例会6月会議	午前10時～	議会議場
21日(金)	定例会6月会議	午前10時～	議会議場
25日(火)	全道町村議長会議員研修会		札幌市(コンベンションセンター)
7月19日(金)	議会運営委員会	午後1時30分～	議員控室 ・議会だより編集ほか

編集後記

ゴールデンウィーク10連休、いかがお過ごしでしたか。

「平成」から「令和」に変わり、皇室の厳粛な儀式や各地で新元号を祝う様子が報道され、少しずつ改元を実感できたのではないかと思います。

議会では関連条例を見直し、4月からスタート。

「議会参画奨励条例」では、参画(傍聴)の手続きを不要、参画者の意見を聞く機会を設けることとし、参画者席へマイクも設置しました。

是非、会議に参画してみてください。

今回は、3月会議を中心とした「議会だより第122号」をお届けしました。



北方領土返還要求運動シンボル「千島桜」